# LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１８年２月号

「子どもたちの笑顔が見たい」子ども食堂の準備をする山田校区福祉委員会の皆さん（撮影：花歌）

- 言いたい放題！　アッキー28号（24）　愛のききみみ頭巾
- だれでも来られる居場所としての「子ども食堂」
- 鶴島昭雄さん（枚方在住）に聞く「戦争の体験」（17）
  生死の分かれ道
- 思い出話　浪華から大阪へ（10）
- 今月の五行歌
- 「枚方の図書館の今をみつめ、未来を考える」学習会開催
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告



「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18 時以降）

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）


LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

日曜日の朝はのんびり朝寝。パパ（夫）も遅いし～と思っていると、先に起きてきたらしい。ドア越しに、リビングでぶつぶつ言ってる声が聞こえてくる。

「また、こんなとこに置いて。ぐちゃぐちゃになっとる。全く、あいつは～」。不平たらたら言っているパパの声が、突然違う言葉で聞こえてきて、驚いた。

「こんなとこに置いて、ぐちゃぐちゃになってる。こっちにまとめて置けばよかったのに。アッキー、時間なかったんやね。こっちに片づけといたるわ～」

え!?　何、これ？　パパの言った言葉が自動的に変換されたように、確かにそう聞こえた。相手の非をなじる言葉が削除され、現実に対処する前向きな解決策と、あたたかな思いやりのある言葉も付加されて、聞こえてきたのだ。

それ以降その日は、パパが文句を言っても、違う風に私に響く。

「なんで、こんなんするんや。あほか！」そう聞いたら、すぐ後に、「これ、こうしたらええんや。そしたら、うまくいくわ」。前向きなやさしい言葉になって聞こえてくる。まるで、自動変換翻訳機能が私の脳に装着されたようだ。えー、どーして？

そういえば、きっかけとなることはありました。

「貫禄ついたね」「アッキー、ズッシーン」このところ体重がじわじわ着実に増えていく私に対して、パパが言う。

「だって、おやつ、パパがいっぱい買ってきて、食べないと機嫌悪くするし～」「子どもの食べ残し、全部食べてたらこーなった」そう言い訳していたのだけれど、ある日、「でも、ふっくらしてる方が親しみがあるんじゃない？」とパパが言った。

## 言いたい放題！　アッキー28号（24）　　愛のききみみ頭巾

え？　そんな気持ちで、これまで言ってたの？　びっくり～～！

けなす言葉の後ろにぴったり貼りついた愛着の気持ち。意外とひとって、自分の本当の気持ち、言えないもの。いや、自分でもわかっていないのかも。それとも、わかっていても認めたくないとか。恥ずかしくて、ひとには言えないとか。

そういうものなのね、不思議。

ふと思い出したのが、昔話にあった、ききみみ頭巾のお話。柴刈りに行ったおじいさんが、親切にしてやったキツネから頭巾をもらった。それをかぶるとあら不思議、鳥の声が聞こえてくる。「長者様のお嬢様の病気、治らないね」「新しい蔵がお庭の楠の腰の上に建っていて、楠が苦しいの。蔵を動かして楠を楽にしてやれば、すぐによくなるのに」。そのことを伝え、長者様が蔵を動かすと、お嬢様の病気は快復。喜んだ長者様からたくさんのお礼をもらったおじいさんは、すてきな頭巾をくれたキツネに厚揚げをいっぱい買ってあげましたとさ。

鳥や木や獣と、人間の社会、二つの世界を、おじいさんのやさしい心とききみみ頭巾がつなぐ。ともすれば自然の営みを蹂躙してしまう、人間の活動。貧しい者と金持ちがいる、人間社会。そんな社会の仕組みは変わらぬままに、それぞれがそれぞれにふさわしい幸せを得る。そう読み解けば、なかなか味わい深いお話ではないだろうか。

ところでこのききみみ頭巾、とらわれのない心でいれば、キツネにもらわなくても手に入れることができるのではないかしら。そんなこともふと思った。

それからまもなく。高３になった下の息子が、「大学に行きたい。でも勉強できてないから、塾に行かせて」と夜遅く突然私に言ってきた。パパは週末まで出張で留守。翌日夜になるのを待って電話してみた。

「こんなこと言うんだけど。お金かかるよ。パパ、塾の費用、出せる？」

「あいつ、このまま世の中に出して、やっていけると思うか？　あのままじゃ、社会の迷惑や。塾に行かせへんでええんか？」

「パパ、それってもしかして……。彼を応援してやりたい。精一杯やらせてやれ。愛する息子のためや、お金はなんとかするって。……そういうこと？」

「ま、まあ、そういうことや……」

ききみみ頭巾をうまくかぶれたようだ。

（著者プロフィール）　自称「アラカン兼業主婦」。上の子が自閉症で、パートの仕事と並行して、親の会的な活動や市民活動等に励んでいます。
＊アラカン＝六十歳前後。

# だれでも来られる居場所としての「子ども食堂」、ここにも！

月に１～４回、主に夕方から夜にかけて、地域の集会所や公共施設等で開催されている「子ども食堂」。枚方市のホームページを見ると、現在市内で、市の助成を受けて、19 団体が 20 の子ども食堂を開催、子どもたちに無料で食事を提供しています。その他にも、特に助成を受けず自主運営で子ども食堂が開催されているところもあります。

**■山田校区では、学校の長期休暇中に……**

2017 年 12 月 23 日（祝・土）、枚方市甲斐田町の山田会館で、子ども食堂が開催されました。晴天に恵まれたこの日、冬休みが始まったばかりの子どもたちが 11 時からの開始前に会館の前に並んで、大盛況。この日のメニューは、ご飯とクリームシチュー、鶏の唐揚げ、ウインナー、サツマイモの天ぷら。子どもは無料、おとなは 250 円の協力金で、ボリュームたっぷりの昼食です。お昼過ぎには、ＮＰＯ法人「ひらかた子ども食堂ファンクラブ」のサンタさんが来て、子どもたちにプレゼントを渡してくれました。

山田会館での子ども食堂は、校区福祉委員会の自主事業として、学校の長期休暇中に一度開催されています。月に二度の木曜サロン、２か月に一度の子育てサロンと共に、「地域で子どもたちを見守っていきたい」と校区福祉委員会の皆さんが笑顔で活動を続けています。

**■地域につながりをつくる「居場所」として……**

もともと東京や大阪等で開始された当初は、「家庭にさまざまな課題のある子どもたちに対して、食事や団らんの場を提供しよう」と始まった子ども食堂ですが、今では「すべての子どもたちに来てもらえる居場所づくり」として、あちこちで取り組みが行われているようです。

あっという間にこんなに広まったのはどうして？　「昔は地域でおまつりをやったりして、地域の人が集まりおふるまいの食事をみんなで食べたりした。そんなことが今は殆どなくなって、社会的なつながりが希薄になっているでしょう。経済的貧困を支援しようと子ども食堂を始めたら、結果的に『社会的つながりの貧困』を満たすものとなった。やってみたら楽しい、だからどんどん広まってきているんじゃないかな」。そんな風に説明してくれる人がいて、なるほどと思いました。

２月 11 日（日）には、枚方市民会館１階と岡東中央公園で、「子ども食堂だよ。全員集合！」が開催されます。子どもカフェや、子ども食堂の写真展、ワークショップ、講演等、楽しい催しがたくさんです。詳しくは、７頁イベント情報欄をご覧ください。

（ＬＩＰ編集局　豊髙明枝）

鶴島昭雄さん（枚方在住）に聞く

# 「戦争の体験」（17）
# 生死の分かれ道

第二次大戦末期の 1945 年、日本軍は太平洋上の制海権も制空権も失い、ソロモン群島、サイパン、硫黄島、アッツ島、フィリピンなど次々アメリカ軍の反撃で全滅し、軍部は悲惨な全員戦死の悲劇を「玉砕」と言う表現で美化し、戦死した将兵たちを「英雄」として称えた。私たち旧制中学生は、15 才～17 才の未だ少年期の年令で、本土決戦のための少年兵特訓を受け、その一方で武器製造工場で働かされていた。洗脳された少年たちは、戦争という殺し合いの準備に多忙であった。

追い詰められた軍部は、丙種合格の病弱者や 40 才を過ぎた者まで、補充兵として戦場に送り込んだ。たった一枚の召集令状は、病弱者や一家の柱である人たちを何の保証も無く戦場に連れ去った。そんな人々に白兵戦（１対１の殺し合い）のための特訓をする任務を担ったのが若い将校（少尉～大尉）である。この将校たちは、補充兵を率いて前線に出陣する責任を負わされていた。僅か 2 か月足らずの短期間に、銃剣術や剣道の特訓をし、そんな部下たちと共に前線に出撃し、次々と玉砕して命を落とした。補充兵たちは、仕事を奪われ、妻子と別れ、挙げ句の果てに命を奪われた。このような悲劇は現代の若者たちにとって、単なる昔話に聞こえるかもしれないが、教育勅語の復活、憲法改正が囁かれ、わが国が如何にも険悪な国際情勢下にあって、防衛の必要性に迫られているかのような政府見解が見え隠れし始めていることを熟考すれば、戦争の悲劇の繰り返しは決して夢物語ではない。

名古屋出身の斎木中尉は、補充兵特訓の任に当たり、小隊長の一人として部下の補充兵たちと共に沖縄に送られた。圧倒的に強力な兵力で北上するアメリカ軍に沖縄を取られれば日本軍に勝ち目は無かった。その沖縄を攻める前に、アメリカ軍は南に位置する南大東島を先ず第一に占領するのは必至とみた日本軍は、この島を死守して時を稼ぎ、沖縄守備隊の態勢を強化する事に決めた。ここに送られるのは、玉砕必至の特攻隊である。

大本営は、この特攻隊に参加する希望者を募った。勿論、これは表向きのことであって、実際は命令であった。斎木小隊の殆どは、40 才前後の補充兵であった。斎木中尉は心中「許してくれ」と叫びながら、全員に遺書を書かせた。

1945 年 3 月 31 日、南大東島の沖合に、夥しい数の艦艇が姿を現した。それは、水平線を覆い隠すばかりの大艦隊で、18 万の兵力を擁するアメリカ軍であった。南大東島の特攻隊は 2 万に満たない。

「きた！！」、と叫んだ補充兵たちは、恐怖の余り全身が硬直してしまった。守備隊長が「艦砲射撃が始まるぞ！　塹壕に入って伏せろ！　敵のダイハツ（上陸用船艇）が来るまで射撃するな！」、と命令を伝えた。その時、斎木小隊長は思わず小声で「死ぬな、動くな」と部下たちに伝えた。無意識に出た本心であった。

ところが、敵は一発の艦砲も撃ってこないし、飛来する艦載機も、艦上爆撃機も飛んでこない。おまけに、アメリカ艦隊は次第に北上を続けて 1 時間も経たない間に姿を消してしまった。

「？？？？？？ーーーー」、何が起こったのか、さっぱり理解出来ない事態が展開したのである。

アメリカ軍は、南大東島には目もくれず、4 月 1 日沖縄本島に上陸した。そして、6 月 23 日、牛島満第 32 軍司令官が自決して沖縄は陥落した。12 万 2 千人の尊い県民の命が失われたのである。まさに生死の分かれ道で南大東島特攻守備隊全員は生還出来た。

文／画　鶴島昭雄

# 思い出話
# 浪華から大阪へ（70）

“浪華から大阪へ”も10回を重ね、いよいよ最終に近くなって参りました。

鯨の泳いでいた大阪湾が浪速潟になり、浪速湖に成り、伏見に巨椋池を残すのみと成った経緯から、その「巨椋池」も干拓されて、陸地となり今の大阪平野の原型が作られてきた事までお判りに成ったと思います。

そして戦国時代に、大阪湾の入り口に南北に長く延びた「上町台地」の上に石山本願寺が出来、太閤さんにより難攻不落の大阪城が作られました。しかしそれも徳川家康により大坂夏の陣で大阪城が落城し、大阪の町は殆ど灰燼に帰しました。

その後大坂城は江戸幕府により再建されると同時に町も昔の様に復興されてきました。大阪の北は続く大塩の乱、焼け跡線の出来た天満焼け、そして今次大戦の七回に亘る大阪大空襲で市の中心部は総て灰燼に帰し、かっての大阪の町の姿は見る影も無く成ってしまいました。昔から言われる「船場・島之内」も一面の「焼け野が原」と化し、難波橋の南に有った、嘗ての三越の南側に有りました、「小西儀助商店」だけが空襲で焼けずに当時の姿を残しています。

大阪の中心は「船場・島之内」とよく言われますが、これは「船場」と「島之内」の二つのエリアの総称で、今となってはどこが「船場」で、どこが「島之内」かをはっきり言える人は少なく成って来たのでは無いでしょうか。

今では「船場・島之内」と一緒に言っていますが昔の「船場」の人は「船場」は大阪の中心は飽くまで「船場」で有り、「島之内」はその次に存在すると思われていました。

## 「船場」

それでは「船場」はどの辺りを言うのでしょうか？

前段に書きました通り、此をはっきり言える人はだんだん少なく成って来ています。「船場」というエリアは、東は「東横堀」、西は「西横堀」に挟まれ、北は「土佐堀川」、南は今は「地下駐車場」になっていますが、「長堀」の四つの堀川に挟まれた地域を言います。

此のエリアは太閤さんが「大阪城」の三の丸を拡張された時、其処に有った町家をお城の西に移転させたと言われています。船場はこの様に作られた町ですから、京都の様に町並みが道路で四角く分けられ、解り安くなって居ります。

大阪の二つの御堂さんもその中に有り、大阪の中心に位置しています。町が四角になっていますので、京都で道を尋ねたときと同じように大阪の船場では「御堂筋、平野町の西北角」と言えば「ガスビル」の有る所と、今のＧＰＳの様に直ぐ位置が確定されます。

「船場」の町の名前の謂われについては
1）昔は船着き場で有った所から、
2）戦場で有った所から、
3）馬を洗ったところから、
4）波が多く（千波）来たところから
等色々有りますがどれもそれらしく、決め手を欠いています。とは言え1）の船着き場の説が有力では無いかと言われています。

## 「島之内」

一方「島之内」は「東横堀」と「西横堀」に挟まれているのは「船場」と同じですが北は上記の地下駐車場になっています「長堀」、南は「道頓堀」までのエリアを言います。

名前の由来については「難波島之中」とか「難波八十島の内」とか言われていますが、地域の名前については確証が無く、「船場」と同じく四方堀川に囲まれた地域で、船場は大きな商屋が多かったのに比べて、「島之内」は小売商や芝居小屋が多く繁華街を形成して居ました。その様な所から「船場」より一段下に見られ大阪南の繁華街として発展し、今の「ミナミ」の賑わいに連なってきたのでは無いかと思われています。

この様に「船場」と「島之内」ははっきり区別されているわけです。

次回も「船場」「島之内」にまつわる色々なお話をしたいと思います。

今回も季刊「大阪春秋」及びその付録、堀田暁生編「大阪の地名由来辞典」等のお世話になりました。

「おわり」

✎　小田川徳男

ＬＩＰが選ぶ

# 今月の五行歌

八重山の海には
ひときわ濃い紺色の帯がある
それはマンタの通り道
ヒラヒラとドレスなびかせ
ここを通るのだ

ゆきまゆ

９cmじゃなくて
本当は２cmだって
なんぼ何でも
それはないと思ったわ
宇宙での話

ちえこ

年を重ねると
背負ったものの重さが
増してゆく
どこかでよっこらしょっと
おろしてみなければ

倭（しず）

五行歌（ごぎょうか）とは……　五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。
枚方では、五行歌ひらかた歌会(連絡先：090-5893-5635)が、毎月一度月曜日午前十時半～十二時半、メセナひらかた諸活動室で歌会を行っています。その作品の中から、ＬＩＰ編集局が「気になるうた」を選びました。

## 「枚方の図書館の今をみつめ、未来を考える」学習会開催

１月７日（日）枚方市民会館で、学習会「枚方の図書館の今をみつめ未来を考え合いましょう」が開催*されました。枚方市には、独立した館である中央図書館と香里ケ丘図書館、生涯学習市民センターとの複合館となっている６つの図書館と、10の図書館分室、サービススポットが１か所設けられています。このうち複合館となっている図書館に指定管理者制度の導入が進められており、香里ケ丘図書館の建て替えもスタートしています。

しかし、「知の拠点」である図書館に指定管理者制度はなじむものなのか？　桃山学院大学経営学部経済学科教授の山本順一さんにお話を伺いました。

山本さんは、枚方市の第34期社会教育委員長を務め、枚方市図書館第３次グランドビジョンの点検、評価にも関わって、市立図書館の現状をよくご存知です。市立図書館の貸出冊数と実利用者数は共に微減、特に中央図書館の貸出冊数が減っていること。市の図書館費総額の７割が人件費であり、図書館費そのものが市の決算総額の0.45%という低額であること。図書館は本の貸出だけでなく、地域社会を建設する拠点として機能すべきである。魅力的なイベントで、どんどん図書館に人がやってくるようにする。また米国の図書館のように、十分な学習の機会が得られない青少年に教育を保障する機能も備えられるべきであろう。行政にもそのように図書館を活用してもらいたい。――広い視野から語られるお話に、40人近い参加者は聞き入りました。

さて、指定管理者制度は、そもそも対象となる事業によって「向き不向き」があります。たとえば大阪城公園や天守閣は電通に20年間の運営委託が決定されましたが、これにより斬新なイベントが企画できるようになって天守閣の入館者数は過去最高、大幅な収入増となっています。しかし、図書館の場合利用料金は取りません。また一般に図書館に指定管理者制度が導入される場合、サービス拡大として開館時間が延長されます。開館時間は延長、指定管理者への利益も確保して、財源は同じ額。となれば、人件費を削るしかない。つまり、指定管理者制度導入＝その職場で働く人の賃金削減です。さすがにこれではうまくいかないと、総務省は図書館に係る地方交付税の算定方式に関して、トップランナー方式（ひらたくいえば、民間委託を進めた自治体に地方交付税を多く算定する）の適用を見送ると発表しました。つまり、「図書館への指定管理者制度の導入はそぐわない」と国が結論したというわけです。

国の方針転換、市民からは図書館直営運営の陳情があがるなか、枚方市議会は６つの複合館への指定管理者制度導入を決めました。また、香里ケ丘図書館の建て替えに関連して、複数の図書館分室の廃止を含めた再編成が検討されています。さて、それで本当にいいのでしょうか？　「図書館を大切にしてくれる市長を選挙で選びましょう」「指定管理者制度を導入してうまくいかず、直営に戻した自治体の例もありますよ」と山本さん。よりよき未来は、それを望むひとが行動し、変革を起こしていくのだと学びました。

（豊高明枝）

＊主催は、枚方の図書館をよくするゾウの会、枚方市の図書館行政を考える会、公民館（生涯学習市民センター）と図書館をよくする会、枚方市生涯学習市民センター活動委員会有志。

# イベント・サークル・ボランティア情報

## 「枚方自閉症児（者）親の会」　２、３月例会

✱日時　２月８日(木)10時～12時
✱日時　３月５日(月)10時～12時

✱場所　ラポールひらかた４階共用ルーム
✱連絡先　春名 072-397-0053　鬼塚　072-841-3515

## サプリ村野学校　詩を読もう 詩を書こう

✱日時：2月18日／2月25日　各10時から11時30分
✱各1000円
✱会場：サプリ村野「ＮＰＯセンター一時利用室」
✱申込み
　ひらかた市民活動支援センター
　枚方市村野西町5-1　サプリ村野内
　TEL：072-805-3537　FAX：072-805-3532
✱講師：井上良子 関西詩人協会会員 季節風 京都詩話会同人
今年は「赤い鳥」から百年です。
詩を味わいましょう。言葉は生きるチカラになります。自作の詩でも、好きな詩でもお持ちください。声に出して読んで気軽に楽しみませんか。
連続で受講をおすすめします。各日でももちろんok

## ✱✱無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ✱✱

・バザー　2/13(火)・3/28(水)
　市役所前の岡東町公園にて　　10:30～
・廃油回収　2/20(火)
　津田生涯学習市民センター玄関前にて　10:30～12:00
　3/20(火)：枚方市役所前にて　　10:30～12:00
お近くにお越しの際にはぜひいらしてください。皆でお待ちしております＾＾

✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱✱
障害者労働センター　　枚方市中宮山戸町10-12-101
TEL072-848-0508
ネットショップ　URL:http//paso0508.cart.fc2.com

## 川口真由美さんコンサート in 枚方

　川口真由美さんは、京都で障がい者通所作業所を運営しながら、全国各地で音楽活動をされているシンガーソングライターです。その歌には護憲、反戦、反原発などのメッセージが込められ、聞く人の心を強く揺さぶります。また、ご自身が出演されたドキュメンタリー映画「レジスタンスなう！」では第１回アジア国際映画祭新人女優賞も受賞されました。この映画は、川口さんが沖縄辺野古に何度も赴き、現地の方とともに座り込むなど精力的に活動されている様子が描かれたものです。
　このたび、その川口真由美さんにこの枚方で公演いただくことになりました。マスコミが「日本礼賛」に傾き、世相が排他的になり、時の総理が「改憲」を声高に叫ぶなど、時代がかつての戦前に回帰しているかのような昨今、私たちの足下から「憲法」「平和」を見つめ直すきっかけになればと思い、企画しました。みなさまの参加をお待ちしています！

✱日時：３月２４日（土）１時３０分開場　２時開演
✱場所：サンプラザ枚方５階　生涯学習市民センター視聴覚室
　　（京阪枚方市駅下車すぐ）
✱参加費：前売り８００円　当日１０００円
✱主　催：Dサポーターズ（教育の自由を取り戻す会）
　　連絡先　福山（090-5240-9261）

## ☆彡子ども食堂だよ。全員集合！語ろ・たのしも・つながろ

　昨年夏！子ども食堂を運営されている方々を応援しよう！と、ＮＰＯ法人「ひらかた子ども食堂ファンクラブ」が立ち上がりました！　子どもたちの未来を想う人が人へ！ つながりの力が拡がり、深まっています。
　このイベントは、子ども食堂を通して、出会った方々が未来へつなげようと願って、開催します。この機会に。ぜひ。知ってください！　子ども食堂のこと。私たちのこと。自由参加無料です。(ブースによって材料費、協力金要)
✱日時：２月11日(日) 10:30 ～14:00
✱場所：枚方市民会館1階&岡東中央公園
✱主催：ＮＰＯ法人　ひらかた子ども食堂ファンクラブ
✱後援：枚方市　枚方市社会福祉協議会　枚方市教育委員会
✱問合せ先：ちいさいほいくえん　みんなの里
　　（電話： 072-845-6818）

## 音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？
◇日時：２月７日（水）14：00～15：30
◇場所：サンプラザ生涯学習市民センター　５階視聴覚室
◇日時：２月17日（土）13：00～14：30
◇場所：南部生涯学習市民センター　２階音楽室
※参加費：500円（初回無料）
申し込み・問合先　音楽でリフレッシュ！　　担当：中嶋
　　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

## ☆彡やんちゃっ子チャリティーコンサート☆彡

■出演者　歌のなかま　うた草
　高校教師、障害者作業所職員、電話工事とそれぞれ仕事のちがう3人で、ウッドベース、ギター、アコーディオンをかかえて歌っています。障害をもった仲間たちの歌、子育ての想い、仕事の歌、そして「平和」について……。会場の皆さんいっしょに歌いましょう。
✱日時：2月11日（日）13時30分～　　(13時開場)
✱場所：楠葉生涯学習市民センター　２階　大集会室
✱参加費：無料（会場でカンパをお願いいたします）
✱会場の都合により、整理券を発行します。
　参加ご希望の方は、事前に下記までご連絡ください。
連絡先：０９０－６３２８－４００６（佐藤）
✱主催：やんちゃっ子 ひらかた

［2005 年 8 月創刊　通巻第 151 号　今号の発行部数 1250 部］

## LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 2-8-3　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ ギャラリー天野が原 ［交野市天野が原町5丁目 20-5］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14(市立産業振興センター5 階)　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-83
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵

**応援ありがとうございます！**

# ＬＩＰ応援団

**知的障害者を普通高校へ北河内連絡会**

### ＬＩＰ会計報告（前号以降）

| 金額(円) | 内容 |
|---|---|
| 48,774 | 前号から繰り越し |
| 3,000 | 応援団寄付 |
| 16 | 銀行利子 |
| ▼635 | 郵送代 |
| ▼500 | １月ロッカー代 |
| ▼4,170 | １月号印刷代 |
| 46,485 | 計（次号へ繰り越し） |

■12月号、1月号に掲載された「かばいの地域考～図書館の指定管理者制度」を引き継ぐかたちで、1月初めに開催された図書館を考える学習会に参加、記事を書かせていただきました。枚方の図書館は、中学校区に一つの図書館或いは図書館分室が配置され、特に小規模の分室は文字通り「下駄ばき」で、高齢者や子どもたちにも親しまれています。各分室ごとに読書会や子ども工作教室等のイベントを企画、学校の教室程度の広さのスペースで、「図書」を媒介に多様な人たちがふれあいすれ違う、「地域の宝」となりうる場です。大切にしていきたいと思います。（T）

■イベント情報にも載ってる「子ども食堂だよ。全員集合！語ろ・たのしも・つながろ」に、今年２回目のポン菓子屋さんとして出動します！
さらに、2月25日には、意賀美神社で行われる「食と暮らしのマーケット」にも出動です！　ぜひご来店下さい♪（w）

■ＬＩＰは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索